

「男女共同参画社会について」

高田中学校 二年 星見 天海

私は「男女共同参画社会」の意味がよく分からなかったので調べてみました。男女共同参画社会というのは、人口減少が進行する中、男女が社会の構成員として活力あふれる社会をつくるためには、男女がお互いを尊重し合い、学校、職場、家庭、地域などの社会のあらゆる分野で、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会、という意味でした。中学生の私にはちょっと難しい言葉だと思いました。それでも自分なりに、男女が平等であることだと思いました。

「男だから」外で仕事をする。「女だから」家事をする、この事について考えてみました。私の父は仕事をしています、母は父の仕事のサポートをしながら家事をしています。友達の親も夫婦で仕事している事が多いと思います。それでも家事はお母さんがしているようです。仕事でお母さんが遅くなる時は、夕ご飯をおばあちゃんが作ってくれると友達が言っていました。私はお母さん、おばあちゃんが家事をするのは、当たり前だと思っていました。でもよく考えると社会では、男性も女性も働いているのに、家事は女性がするのが当たり前は平等ではないような気がしました。「男だから、女だから」と決めつけるのは平等ではないと思いました。

最近のテレビ番組では、男子が料理をしたり掃除の仕方を教えたりするものがあります。特に男子グループが限られた食材を使って料理対決をして順位を決めるのは楽しいです。今の時代は、男子が料理をしたり掃除をする事は恥ずかしいことはありません。私も男子が料理できた方がかっこいいと思いました。テレビの医療系ドラマで女性医師が個性と能力を發揮しながら働いている姿は感動します。

私は、男性だって家事もしていいと思います。女性も仕事をして家事ができなくてもいいと思います。男だからとか女だからと決めつけないで、お互いを支え合いながら生活していけたらと思いました。社会にでたらきっといろんな事があると思いますが男女が協力して、自分のやりたいことができる社会を目指したいです。